

様式 1

東北大学大学院情報科学研究科 「シンポジウム開催支援」報告	
タイトル	社会制度のゲーム論分析
主催者	福山 敬
期日	平成 16 年 1 月 30 日・31 日
会場	情報科学研究科棟中講義室
出席者数（講師・パネリスト等を除く）	5 0 名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先など	谷本圭司（鳥取大学工学部助教授） 松島格也（京都大学工学研究科助手） 榊原弘之（山口大学工学部講師） 曾 道智（香川大学地域マネジメント研究科助教授） 武藤滋夫（東京工業大学社会理工学研究科教授） 秀島栄三（名古屋工業大学社会開発工学科助教授） 内藤 徹（九州共立大学経済学部助教授） 金崎雅之（九州大学経済学府博士課程生） 福本潤也（東京大学新領域創成科学研究科助手） 小林潔司（京都大学工学研究科教授）
目的	本企画は，住民参加などの社会制度の設計および実効性評価に必要不可欠な「ゲーム理論」を共通言語にその課題について学際的に集中討議することを目的とした．
内容	現代社会制度の問題について特に以下のトピックについて研究発表・討議した．1）ネットワーク型社会基盤の整備，2）政策信頼と住民意見，3）環境規制制度の実効性，4）仲裁・契約・ライセンス．
情報科学研究科にとっての意義・貢献度	情報の非対称性にまつわる社会制度（特に住民の意見と政府との乖離から発生する社会問題を解決する制度）設計問題は複雑で学際的で複合的な情報研究アプローチが絶対的に必要である．「情報・市民・代表政府」制度設計の問題は，情報科学研究科の研究主テーマの 1 つとなりえる．本企画はその可能性の一部を示しえたと考える．